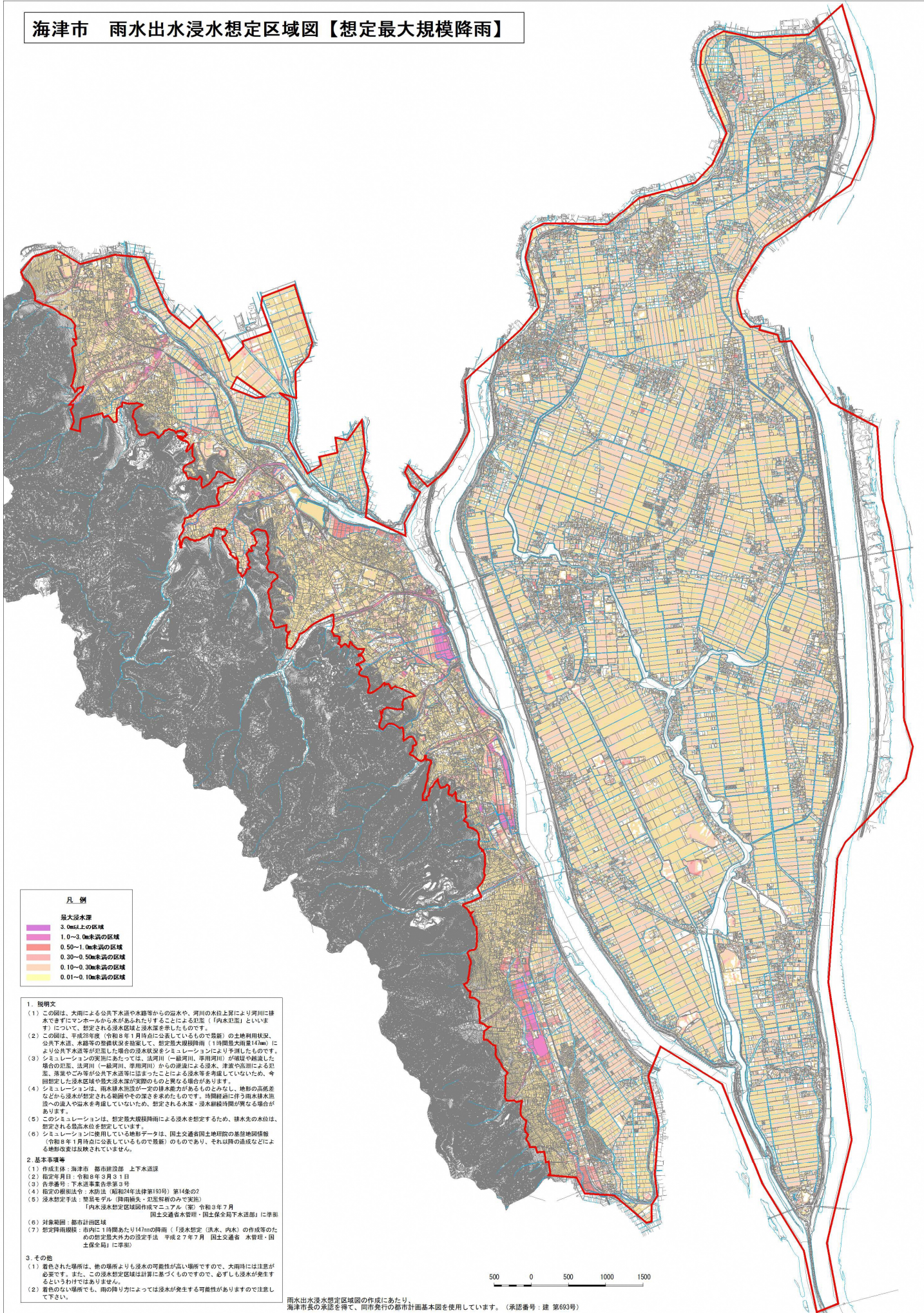


海津市 雨水出水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】



凡例

- 最大浸水深
- 3.0m以上の区域
- 1.0-3.0m未満の区域
- 0.50-1.0m未満の区域
- 0.30-0.50m未満の区域
- 0.10-0.30m未満の区域
- 0.01-0.10m未満の区域

1. 説明文

- (1) この図は、大雨による公共下水道や水路等からの溢水や、河川の水位上昇により河川に排水できずにマンホールから水が溢れだりすることによる氾濫（「内水氾濫」といいます）について、想定される浸水区域と浸水深を示したものです。
- (2) この図は、平成28年度（令和8年1月時点に公表しているもので最新）の土地利用状況、公共下水道、水路等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨（1時間最大雨量14mm）により公共下水道が氾濫した場合の浸水状況を示すシミュレーションにより作成したものです。
- (3) シミュレーションの実施にあたっては、法河川（一級河川、準用河川）が破壊や経流した場合は氾濫、法河川（一級河川、準用河川）からの逆流による浸水、津波や高潮による氾濫、海軍やごみ等が公共下水道等に詰まったことによる浸水等を考慮していません。今回想定した浸水区域の想定浸水深が実際のものと異なる場合があります。
- (4) シミュレーションは、雨水排水施設が一定の排水能力があるものとし、地形の高差差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めるものです。時間経過に伴う雨水排水施設への流入や溢水を考慮していません。想定される浸水深・浸水継続時間に関する場合があります。
- (5) このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の水位は、想定される最高水位を想定しています。
- (6) シミュレーションに使用している地形データは、国土交通省国土院の基礎地図情報（令和8年1月時点に公表しているもので最新）のものであり、それ以降の造成などによる地形変化は反映されていません。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体：海津市 都市建設部 上下水道課
- (2) 指定年月日：令和8年3月31日
- (3) 法令根拠：下水道法第38条
- (4) 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2
- (5) 浸水想定手法：簡易モデル（降雨損失・氾濫伝播のみで実施）
「内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）令和3年7月 国土交通省水管理・国土保全局下水道課」に準拠
- (6) 対象範囲：都市計画区域
指定降雨規模：市内に1時間あたり14mmの降雨（「浸水想定（洪水、内水）の作成等のための指定最大外水の設定手法 平成27年7月 国土交通省 水管理・国土保全局」に準拠）

3. その他

- (1) 着色された箇所は、他の場所よりも浸水の可能性が高い場所ですので、大雨時には注意が必要です。また、この浸水想定区域は計算に基づいたもので、必ずしも浸水が発生するというわけではありません。
- (2) 着色のない場所でも、雨の降り方によっては浸水が発生する可能性がありますので注意して下さい。



雨水出水浸水想定区域図の作成にあたり、海津市長の承認を得て、同市長発行の都市計画基本図を使用しています。（承認番号：建 第693号）